

水と地球には、深い関わりがあります。もちろん、人間も動物も海にいる生き物だって水がないと生きていけません。水は、「今」を保つためには必要不可欠です。しかし、その「今」がない人たちだっています。

例えば、ヨルダン川周辺の人たちです。ヨルダン川周辺には、イスラエルやヨルダン、レバノンなどがあります。この3つの国は、ヨルダン川をめぐる紛争をしています。しかし、ヨルダン川もそこまできれいな水ではありません。水が手にはいない人たちにとって、紛争をしてまでも水がほしいのです。

また、水を使いすぎても問題が発生します。現在、世界の人口が増加傾向にあります。そうなることにより、水の使用量も増えていきます。水は限りある資源です。地球上には、水が十四億 $\text{K m}^3$ あり、その中で使える水はたったの0.01%しかありません。そんな中みんながたくさんの水を使用すると、水不足になってしまいます。また、使いおわった大量の水を処理しようとしてもできなくなり、よごれた水がそのまま川や海に流れ出てしまいます。そして水が汚染されていき、使える水の量はどんどん減って行ってしまいます。

今、あげた2つの例をまとめると、水がないと紛争という地球問題が発生し、急激な人口増加や処理場不足という地球問題で水がなくなっていくということです。

これらのことから、水不足と地球問題には深い関わりがあり、その問題を解決していかないといけないことが分かりました。では、どうやって解決していけばよいのでしょうか。

現在、さまざまな取り組みが行われています。手洗いの仕方や感染症の予防法などの知識を広めたり、資金活動をしたりするなどです。しかし、これからの水を守るためには、もっとしていかないといけないと思います。

まず、二つ目の例であげた処理場建設や海外へのボランティア活動、安全な水へのアクセスなどです。しかし、これらは私たち中学生ができる範囲ではありません。国や地域でやっていかないといけないと思います。そのために私たちは、他にできることをします。それは募金です。私はよくお店で募金箱を見ます。そして、お会計がおわり、おつりが出ると、何十円かは入れるようにしています。私たちがくらしている裏側では水が飲めていない人たちがいる、そう考えると、他の物を必要以上に買うのではなく、一円でもいれていけるといいと思います。

これから先、長く水を守るために、私は私ができることをしていきます。